公共事業事前評価調書(公共事業事前評価結果整理表)

主要目標番号	2.(3)
対象事業	急傾斜対策事業
主要目標	崖崩れ被害の防止

		個別事業の妥当性評価					事業間優先度の評価										
優先順位付け の考え方			経済効率性		T	負荷		貢献度ランクの評価			副次効果ラ	効果ランクの評価					
	対象地区·箇所名	公共関 与、事 業執行 主体の 妥当性		事業 実施模 の 当性	整備 手法 の有		計画	貢献度	過去の災害実績、緊 度 急度、災害発生の危	人家1戸当たり被害軽減額 又は災害時重要公共施設 人家1戸当た 災害時重要		副次効果		事業間ランク	評価委員会意見	総合意見	評価結果
		安当性	主体の 妥当性		当性	効性	配慮	度	ランク)	り被害軽減額	公共施設	ランク	aT.M.			
	大月市賑岡町奥山:中村							а	点 15.0	百万円 / 戸	有無無	1	0	S	-		実施
				ļ	,												
																	
							<u> </u>										
過去の災害実				<u> </u>							•		·				
績、緊急度、災害 発生の危険度が							l										
高〈、人家1戸当 たり被害軽減額 が大きい地区を																	
優先する。																	
													,				
										1							
					·····												
					·····												
					J												
							<u> </u>				1						
								基準値	10	39	有	基準値	0.0		·	-	

同一主要目標内の事業が当該事業のみであるため、事業間ランクは参考とする。

副次効果評価調書

主要目標番号 2.(3)											
	主要目標 崖崩れ被害の防止				主要目標に対応する副次効	所で想定され	評価の説明	評価結果			
評価	評価対象地区·箇所名 大月市賑岡町奥山:中村				果項目	る副次効果					
				(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセ ス向上							
		1 六海	の利便性の	(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのア クセス向上							
		向上	の利民主の	(3) 市街地内の交通の円滑化							
				(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス 向上							
	· 県			(4) 向上							
	民生活の			(1) 森林機能の維持・向上							
	活の			(2) 憩い空間の創出							
	豊か			(3) 生活排水処理機能の向上							
	さ と 経	- 7 生活環境の向		(4) 良好な市街地空間の確保							
	済										
	の発展			(5) 適正な居住空間の確保							
	조			(6) 歩行者等の通行空間の確保							
	支 え			(7) 道路景観の向上							
主要目標項	支える基語			(1) 中山間地域等の農村生活・生産機能 の向上							
目標	整充			(2) 農業生産力の向上							
項目	実	- 3 . 農林	水産業の振								
п		興	い 注乗り旅	(3) 農業用排水能力の向上							
				(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)							
				(5) 森林整備の効率化							
				(1) 歩行者等の安全性の確保							
		1 充滿	の安全性の	(2) 災害に強い道路の確保							
	暮	向上	の女主任の	(3) 都市災害防止							
	らしと経済			(4) 交差点の安全性、円滑性の向上							
	経										
	済 活 動	- 2 .洪水·土砂被害		(1) 洪水被害の防止							
	D			(2) 土石流被害の防止							
	安全性	の防止		(3) 崖崩れ被害の防止							
	確保			(4) 地滑り被害の防止							
	沐	- 3 . 鳥獣	被害の防止	(1) 鳥獣被害の軽減							
				ナル機能の強化							
				能の維持							
				パイントの解消							
			水質の浄化	Ź							
			大気汚染の)軽減							
			騒音·振動の	の軽減							
			良好な景観								
			バリアフリー	-化の促進							
	生活環	境	ライフライン								
				・交流の場の提供							
			飲雑用水の								
			糞尿の処理 地域の文化	E 公・学習等活動の支援							
	l)円滑な提供							
副次			水源涵養機								
効果	自然環	境	生態系空間								
項目 事: 生:			防火帯・延焼遮断帯の確保								
			緊急時の遅	έ難·救助機能の確保							
	•		被災時の被	度害波及の防止							
			既存施設の	崩壊危険性の排除							
			走行安全性					ļ			
			林業生産力								
	サギャ		遊休農地の								
	生産性	:		用地の創出							
			農地の保全 農林産物の								
				が見ば進							
			リサイクルの								
	その他			が 対資源等の保存・復元							
			他事業との								
				ェクトとしての位置づけ							
							副次効果	0			
							評点合計	<u> </u>			

別紙 3 :急傾斜地崩壊対策事業		中村							
過去の災害実績・緊急度	過去の災害実績・緊急度						0	0	
(1) 直近のがけ崩れ発生の有無									
┃ ┃ S 発生から3年以内	4	4							
B 過去にあり	2								
(2) 過去10年間の実績被害									
人的被害の状況									
S 死者・行方不明者あり	4								
A 負傷者あり	3								
最大被災戸数									
A 2戸以上	3	3							
┃ 	2								
■ 重要な公共施設等(道路、鉄道、官公署、学札	交等)の被								
A 有り	3								
災害弱者関連施設(病院、身障者施設、老人 幼稚園等)の被害実績の有無	ホーム、								
A 重要施設()あり	3								
B 有り	2								
(3) 過去10年間の避難実績(自主避難を含む)									
B 有り	2								
	評点	8	0	0	0	0	0	0	
災害発生の危険度	計紙	0	U	U	U	U	U	U	
(1) 斜面の高さ(危険区域内における最大高)									
B 30m以上	2	2							
(2) 斜面の平均勾配(危険区域内における最大勾配	3)								
A 45度以上	3								
B 40~45度未満	2								
┃									
C 谷地形又は凸状	1	1							
C 谷地形又は凸状 (4) 遷急線(勾配の変化)									
┃ 	2								
(5) オーバーハングの有無									
B あり	2								
(6) 地盤の状況									
A 崩積土·火山砕屑物·強風化岩	3	3							
B 段丘堆積物	2								
C軟岩	1								
(7) 湧水の有無	_								
A 常時あり	3								
B 降水時にあり	2	2							
C斜面が常に湿潤	1								
(8) 植生の状況									
C 生育状況が不良	1								
災害弱者関連施設のうち重要施設	計	15	0	0	0	0	0	0	

高齢者、障害者等自力避難が困難な方が24時間入居・入院している施設